

# 横田基地軍民共用化推進セミナーを開催しました

## ○ 概要

平成22年12月17日、都主催の「横田基地軍民共用化推進セミナー」を開催しました。

日米双方の専門家から軍民共用化の必要性や取組に関する講演が行われ、関係省庁や航空関係者など約250名の方が参加されました。



## ○ 講演の要旨

### 杉山 武彦氏(成城大学教授、前一橋大学学長)

#### <横田基地軍民共用化に向けた今後の展開>

- 日米関係を促進するには、①日米安保体制、②日米双方のメリット、という視点が必要である。
- 横田共用化の意義は、①首都圏空港容量の拡大、②首都圏西部地域の利便性向上、③ビジネス航空など多様なニーズへの対応、である。
- 横田共用化は、経済的側面も含めた日米同盟の強化に資する。
- 共用化に向けた技術的分析に加え、戦略的アプローチを検討することが必要である。

### 西原 正氏(財団法人平和・安全保障研究所理事長)

#### <日米安保体制と横田基地>

- 日米安保体制は、日本の安全を保障し、経済的繁栄をもたらすと同時に米国の軍事プレゼンスを支えており、アジア太平洋地域の国際公共財となっている。
- 日米同盟は、外交、経済、教育、科学技術、環境など広い分野における協力を進める「グローバル・パートナー」を意味する。
- 横田共用化が首都圏経済に寄与することで、住民のより強い支持を獲得し、同盟の強化につながる。

### ジョン・ホール将軍(元在日米軍司令官)

#### <日米両政府間の安全保障対話 ～より状況に適応したプロセスの必要性>

- 横田共用化が実現可能であるという点にはほとんど疑いの余地がないが、その決断の準備が日米両政府間で整っていない。
- ①関東地域に必要な空港容量、②首都圏西部地域における空港ニーズの評価、③空港容量増加のための他の選択肢の評価、という検討の枠組を提案する。
- 検討に当たっては、外務や防衛分野にとどまらず、国土交通省、経済産業省、米運輸省、米商務省など幅広い関係者の関与が不可欠である。

### アラン・メンデルソン氏(元米国務次官補代理)

#### <横田基地軍民共用化がなぜ日米間の 相互協力促進という目的にかなうのか>

- 横田基地の民間利用に関して3つの案を提案する。
  - ①格安航空会社の国内便
  - ②ビジネス航空
  - ③日米の航空会社による横田ーハワイ・グアム便
- 日本の立場を強化し、日米間の経済関係をさらに良好なものとするために、日本は、多国間オープンスカイ協定への加盟を検討すべきである。

### ポール・ジアラ氏(元米国防総省日本部長)

#### <横田基地軍民共用化がなぜ日米同盟に資するのか>

- 中国の軍事的台頭等を背景に、日米同盟の重要性は高まっている。
- 横田基地の軍事機能を維持・向上させながら、同時に民間の利益を生み出す軍民共用化の実現は、今後の軍民共用のモデルとなる。
- 横田共用化は、日米同盟が機能していることを示すものであり、戦争抑止戦略の重要な要素である。

### 全米ビジネス航空協会

エドワード・ポーレン会長兼最高経営責任者

#### <ビデオメッセージ>

- アジアと全世界においてビジネス航空を発展させる上で、日本が非常に重要な役割を果たしうると確信する。
- 近年の成田・羽田空港の改善をとても嬉しく思っているが、横田共用化により、日本におけるビジネス航空を促進することができるだろう。



### 高瀬 保 東京都参与

#### <まとめ・閉会挨拶>

- 横田共用化を考える上で重要な点は、基地の軍事機能の維持、共用化がもたらす経済的利益、日米のWIN-WIN関係の実現、である。
- 日米交渉促進のため、日本側からしっかりと提案をしていけば、米側は真摯に受け止めると期待している。

## 「横田基地軍民共用化推進セミナー」アンケート結果

平成 22 年 12 月 17 日に開催した「横田基地軍民共用化推進セミナー」では、参加された皆様から「参考になった」という声が多く寄せられました。また、以下のような貴重なご意見・ご感想をいただきました。

### ○ 講演内容についての主なご意見・ご感想

- 日米安保を前提としつつ、WIN-WIN の関係をどう構築していくのか、多くのサジェスチョンをいただいた。
- 日本のみならず、米国から横田基地の活用の可能性を聞くことができた。
- 日米それぞれの意見が聞け、現段階での方向性/課題がわかった。
- 多面的な立場から、横田基地軍民共用化についての議論があり、大変興味深かった。
- アジア情勢についてのアメリカの認識、日本政府の姿勢、軍民共用化の実現可能性。いずれの話題も興味深い内容だった。
- 現実を見据えた可能性につき、日本のみならず米国の視点からも聴取できた。
- 現在の東アジアのパワーバランスを踏まえた視点から、横田軍民共用化の必要性を新たに認識した。
- 有識者の生の声で夢の有る航空の将来をお聞きできた。実現すれば東京/日本はまだ大丈夫。

## ○ 横田基地軍民共用化に関する主なご意見等

- 横田空域の首都圏空域との一体運用によって導かれる経済波及効果が、今日の日本経済にとって活性化の力になればと思います。
- 多摩地域の住民として早く横田基地を軍民共用化して欲しいと思って出席しているので、大変参考になった。
- 日米同盟を強化していくことにつながるという論理のみでなく、段階的な軍民共用化など幅広く現実的な内容の講演をいただき、大変参考になりました。
- 一日も早く実現してください。期待しています。
- 横田共用化が WIN-WIN の関係を示すことができれば日米同盟強化に資するというのは新たな見方である。
- 交通アクセスに時間がかかるので早い決断、実行が必要。次回をぜひ！
- 日本及び東京の国際的重要性を高めるという見地から、強く実現を望む。
- どのような課題があるにせよ、共用化によって期待できるメリット（例えば、交通の利便性や米軍との協力関係の促進など）は、非常に有意であると思う。
- 広く、日米安保、経済同盟、民間交流に役立つ、特に定期航空よりビジネス航空の利用に期待する。
- 都が取り組む重点施策と位置づけての広報（共用化の必要性や具体的なメリットなど）を計画的に進め、“推進”の声を大きくしていくことが大切では・・・と感じた。
- 多摩地区にとって、大変有意義な活性化の手段ということを再認識できた。
- 東京都だけでなく首都圏、さらに日本全体にとって有益であることであり、是非実現していただきたいし、応援していきたい。
- 横田基地を軍民共用化するに当たり、空港機能を支えるインフラ、特に道路（高速道路を含む）、鉄道等の交通基盤が必要。現時点から多摩地区と都心を結ぶ施設整備を進めるべき。それが間接的に軍民共用化を促進するであろう。